

1. 事業の位置付け

事務事業名	スクールカウンセラー派遣事業		
事業担当	学校教育部 子ども教育相談センター		
予算科目	01-100107-010000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	児童・生徒、保護者、教職員	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
不登校をはじめ、児童・生徒の様々な問題行動などが解消しています。		児童・生徒の様々な問題を解決するため、本人や保護者のカウンセリングや教職員を援助するスクールカウンセラーを各小中学校に派遣します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	スクールカウンセラー派遣人数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			12	13	14			
活動指標②	指標名	スクールカウンセラー配置学校数						単位	校
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			34	37	40			
成果指標①	指標名	スクールカウンセラーに係る学校評価						単位	点
	説明・算定式	「派遣により、児童・生徒の悩み解消など効果があった」とする評価（5段階）の、派遣している全小中学校の回答の平均							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			4.2	4.3	4.4			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
スクールカウンセラーを3人増員し、小学校への全校配置が完了するとともに、児童・生徒、保護者、教職員への支援に効果をあげることができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	不登校など様々な課題に対し、学校におけるスクールカウンセラーの必要性が強く求められている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	校内でのカウンセリング、研修会、ケース会議での助言等、支援体制の一端を担っている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	専門的な知識や経験を生かし、学校内での問題解決に取り組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	各学校に配置されることで、保護者、教職員への相談の機会が増え、相談体制が充実している。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 勤務日数の充実に努め、有効な活用が図られるようにする。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				スクールカウンセラーの派遣	スクールカウンセラーの派遣	スクールカウンセラーの派遣		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	24,911	28,897	38,438	0	0
事業費 (A)		0	0	24,911	28,897	38,438	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	95.23				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.75	0.75	0.75	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	6,294	6,294	6,294	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	31,205	35,191	44,732	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 勤務日数等の面で、今後勤務体制の充実が求められているため、事業を拡大していくことが必要である。	
平成21年度の実行方針	
勤務日数等の面で、体制の充実が必要であるため、人員の増員を図っていく。	
課長コメント	スクールカウンセラーは、その専門性を生かして児童・生徒、保護者及び、教職員の悩みや不安の解消、支援等を行い、学校教育相談の充実に努めている。県派遣のスクールカウンセラーとの組み合わせを考慮して、有効な活用を図っていききたい。